

郵便はがき

お手数ですが
52円切手
をお貼りください

4 0 3 0 0 1 7

山梨県富士吉田市新西原5-2-1
日本富士山協会「富士山スタンプラリー」係

ご住所 〒	
TEL	
お名前(フリガナ)	年齢
	性別 男・女

スタンプラリーにご参加いただきましてありがとうございます。
今後の参考にするため、下記のアンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

1.スタンプラリーを何で知りましたか?

- このパンフレット 駅などのポスター インターネット 新聞・雑誌
その他()

2.今回のスタンプラリーは、どのような交通手段で回りましたか?

- 自家用車 電車・路線バス タクシー レンタカー バイク・自転車 観光バス
その他()

3.今回のご旅行の目的は何ですか?

- 世界遺産となった富士山に来たかった 特に行ってみたい構成資産があった
毎年、夏に富士山に来ている 見たい(参加したい)イベントがあった 富士登山
このスタンプラリー その他()

4.富士山エリアでとくに「お気に入りの場所」はどこですか?

5.希望の賞品はどれですか?

- A賞() B賞() (スタンプ3つの方はB賞欄に、5つの方は両方に希望承認の○数字(①~⑤)を入れてください)



応募要領

- ◎応募方法
 - ①スタンプ設置個所の専用ボックスに投函。
 - ②切手を貼って事務局へ郵送。
- ◎応募に必要なスタンプ数
 - A賞=5か所のスタンプを押印でA賞B賞ダブルチャンス
 - B賞=3か所のスタンプを押印でB賞GETのチャンス
- ◎応募締切

平成27年9月3日(日)必着
- ◎当選発表

日本富士山協会事務局で厳正に抽選を行います。
賞品の発送をもって発表に代えさせていただきます。

◎個人情報について
ご記入いただいた個人情報は抽選・発送のために利用します。お送りいただいたはがきは当協会にて一定期間保管のうえ、作業終了後は当協会が責任をもってすみやかに廃棄します。

賞品 写真はいずれもイメージです

とととととと
A賞 Wチャンス!!
5つのスタンプでA賞へもチャレンジ!!
ホテルペア宿泊券
各ペア1組(平日1泊2食付き) ①御殿場高原ホテルBU

②ホテルマウント富士

とととととと
B賞 地域の名産品、
観光施設入場券等 各**3**名様

【富士吉田市】 ①吉田の味詰め合わせセット	【富士河口湖町】 ②ハーブ館カステラ詰め合わせ	【山中湖村】 ③山中湖ワイン(2本セット)	【忍野村】 ④忍野そばセット
【鳴沢村】 ⑤キャベツワイン2本セット	【沼津市】 ⑥沼津の干物セット	【三島市】 ⑦みしまコロッケ & みしまコロッケせんべいセット	【富士宮市】 ⑧富士宮市特産品詰め合わせ
【裾野市】 ⑨すその水ギョーザ	【小山町】 ⑩金太郎の熊どら	【長泉町】 ⑪長泉あしたか牛	【富士急行株】 ⑫ハイランドリゾートホテル&スパ バスタランジペア食事券
【御殿場市】 ⑬御殿場芋焼酎	【富士市】 ⑭田子の浦しらす	【富士市】 ⑮地ビールレストランシルバース食事券	【(株)時之栖】 ⑯時之栖温泉チケット

賞品はチケットのご送付となります

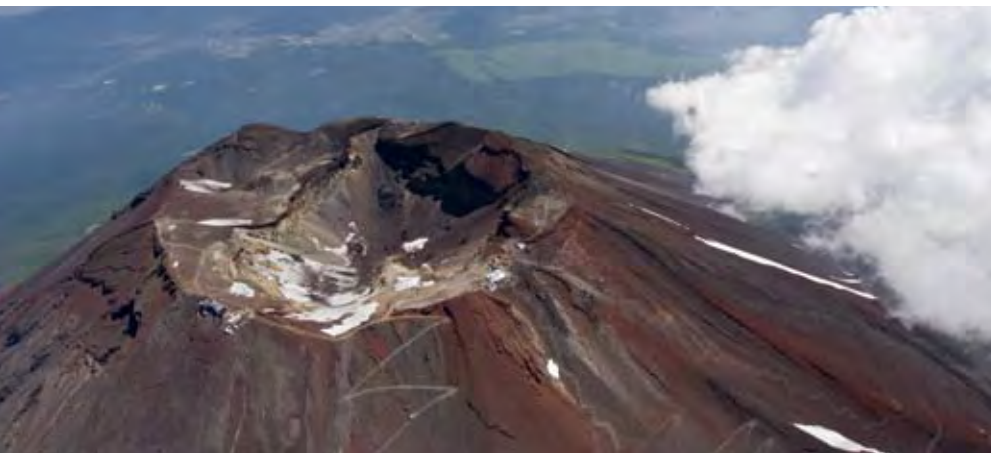
2015 山梨 静岡
ぐふと富士山
夏休みスタンプラリー
2015年7月18日(土)~8月31日(月)
Mt. Fuji Summer Stamp Rally!!
富士山 夏のスタンプラリー
期間中、富士山地域各所をめぐるスタンプラリーを開催します!

この夏、富士山を再発見!!
スタンプを集めながら
世界遺産「富士山」の構成資産を巡る!!

- 富士御室浅間神社 (富士河口湖町)
- 忍野八海(湧池) (忍野村)
- 御師住宅(旧外川家住宅) (富士吉田市)
- 富士浅間神社(須走浅間神社) (小山町)
- 白糸ノ滝 (富士宮市)
- 須山浅間大社 (裾野市)

いつまでも
富士山を
世界遺産に

富士山 世界遺産構成資産



1 富士山域 《山梨県・静岡県》

富士山の世界文化遺産としての価値は、富士山が類まれな「景観」をもとに「信仰」と「芸術」の対象になってきた点であると考えています。この富士山の価値として特に重要な地域(標高約1500m以上)を資産範囲としています。その理由は有名な絵画に描かれた範囲が重なり合う部分にあたり、信仰の上では神聖性の境界のひとつであった「馬返」以上にあたるからです。この範囲の中には、浅間大神が鎮座するとされる八合目以上や、富士講信者の修行の道であった「御中道」、現在発行されている千円札等に採用された本栖湖からの景観が含まれています。

1-1 山頂の信仰遺跡群 《山梨県・静岡県》

山頂には、火口壁に沿って神社等の宗教関連施設が分布しています。富士山への信仰登山が開始されると、寺院の造営や仏像等の奉納が行なわれるようになり、山頂部における宗教行為が体系化されていきました。山頂において「ご来光(日の出)」を拝むことや、8つの頂部を巡る「お鉢めぐり(八葉めぐり)」の行為は、現代においても多くの登山者が行っており、これらを通じて富士山信仰の核心が現代にも確実に受け継がれています。

1-2 大宮・村山口登山道 現富士宮口登山道 《富士宮市》

富士山本宮浅間大社を起点とし、村山浅間神社を経て山頂南側に至る登山道です。12世紀前半から中ごろにかけて末代人の活動をきっかけに登山が開始されたと考えられています。その後、一般人の信仰登山も開始され、その様子は16世紀の作とされる「頼本著色富士曼荼羅図」に描かれています。資産の範囲は現富士宮口登山道の六合目以上です。



1-3 須山口登山道 現御殿場口登山道 《御殿場市》

須山浅間神社を起点とし、山頂南東部に至る登山道です。その起源は明確ではありませんが、古文書では1486年にその存在が確認できます。登山道のいくつかの宗教施設は村山浅間神社(興法寺)の修験者の行場としても使用されました。資産の範囲は、現御殿場口登山道となる標高2,050m以上と信仰の対象であった御殿内周遊です。



1-4 須走口登山道 《小山市》

富士浅間神社を起点とし、八合目で吉田口登山道と合流し山頂東部に至る登山道です。その起源は明確ではありませんが、登山道からは1384年の年号が入った懸仏が出土しています。18世紀後半に入ると、富士講を含めた多くの道者が利用しました。資産の範囲は、五合目以上です。



1-5 吉田口登山道 《富士吉田市・富士河口湖町》

北口本宮富士浅間神社を起点とし、富士山頂を目指す道。14世紀後半には参詣の道者のための宿坊も出来始め、大勢の人々が登るための設備が整うようになりました。富士講隆盛の礎を築いた食行身縁が、信者の登山本道をこの吉田口に定めたため、富士講の信者が次第に増加した18世紀後半以降は、最も多くの人々によって利用されています。



1-6 北口本宮富士浅間神社 《富士吉田市》

起源は1900年前に遡り、富士山内にありながら噴火の被害を免れてきた由緒ある神社。富士北口登山道(吉田口)の起点であり、富士講の聖地として古くから栄えてきた。古代より富士山の遷拝所を示す富士山大島居は本造日本最大で、60年の式年を経て竣工したばかり。富士山開山行事や吉田の火祭りが行われる神社。



1-7 西湖 《富士河口湖町》

五湖の真ん中。水深が2番目に深い藍色の湖は、フジマリモの生息地。2010年、約70年ぶりにクニマスが発見されて、大きな話題になりました。西岸には青木ヶ原樹海原生林が広がり、富士山噴火の歴史を物語る「竜宮洞穴」(富士道者巡礼の霊場)や「富岳風穴」「鳴沢水穴」などの溶岩洞窟が見られ、樹海を歩くガイドツアーも行っています。



1-8 精進湖 《富士河口湖町》

五湖の中で、最も小さい湖。1895年、英国人ハリー・スチュワート・ホイットウォーズは富士山を最も美しく眺められる地を求め、この地に富士五湖最初のホテルを創業しました。日本有数の避暑地「ジャパン・シージュ」を海外に紹介し、多くの外国人が訪れました。自然観察路からは、青木ヶ原溶岩流の流れ込んだ様子を一望できます。関東へのヘアプナのメッカです。



1-9 本栖湖 《身延町・富士河口湖町》

五湖の中で、最も水深が深く、透明度が高い湖です。北西岸からは、岡田紅陽の写真「湖畔の春」をデザインした「千円札の富士」が望めます。初日の出のスポットとしても有名です。戦国時代、甲斐と駿河を結ぶ中道往還の中継地として栄え、「七社大明神」など、多くの史跡が残っています。淡水では珍しいスキューバダイビングやヒメマス釣り、キャンプなどが人気です。



4 村山浅間神社 《富士宮市》

平安時代末期に富士山の噴火が衰えたと末代人など山中で修行する人々が現れました。これが発展し、鎌倉時代の終わりには富士山における修験道が成立します。この中心となったのが村山浅間神社(興法寺)です。江戸時代末までこの修験道者が大宮・村山口登山道を管理しました。



5 須山浅間神社 《裾野市》

須山口登山道の起点となったのが須山浅間神社です。社伝では日本武尊が創建したとされ、1524年には存在していたことが棟札により確認できます。1707年の宝永噴火により登山道を含め社殿も大きな被害を受けましたが、現在の本殿は1823年に再建されました。



6 富士浅間神社 須走浅間神社 《小山市》

須走口登山道の起点となる神社で、富士講信者が多く立ち寄り、33回を一つの区切りとする登拝回数等の記念碑が約80基残されています。社伝によれば、807年に造営したと伝えられます。宝永噴火(1707年)では大きな被害を受けましたが、1718年に再建され、修理を重ねながら現在に至っています。



7 河口浅間神社 《富士河口湖町》

9世紀後半に起こった噴火を契機に、北麓側に初めて建立された浅間神社であると伝えられています。浅間神社を中心とした河口の池は、富士登拝が大江戸時代まで御師集落として発展を遂げました。現在も富士山と密接に結びついた宗教行事を行っています。



8 富士御室浅間神社 《富士河口湖町》

吉田登山道二合目の地に9世紀の初めに建立されたという伝承があり、富士山中に最も早く祀られた神社であるとする文献もあります。本殿は1970年代に里宮の地にそのまま移設されましたが、修験や登拝といった様々な富士山信仰の拠点として位置づけられる二合目の本宮(もとみや)と、土地の産土神としての里宮が一体となって機能してきた神社です。



9・10 御師住宅 旧外川家住宅・小佐野家住宅 《富士吉田市》

御師は、夏は道者へ登拝のための宿や食事を提供するなど一切の世話をするときに、日常は富士山信仰の布教活動と祈禱を行うことを業としました。御師屋敷の多くは短冊状をなし、表通りに面して導入路を設け、敷地を流れる水路の奥に住宅兼宿坊の建物が建っています。※10小佐野家住宅は非公開(富士吉田市歴史民俗博物館において模造復元住宅を見ることができます)



11 山中湖 《山中湖村》

五湖の中で、最も大きく、標高全国3位の高原の湖。夏は避暑地として、東岸はテニスを楽しまる者で賑わい、南岸は旭日丘を中心に文学館や美術館が多く点在します。1956年、五湖で最初に発見されたマリモは、マリモ分布の南限とされています。オオハクチョウが越冬する「白鳥の湖」として、そして「ダイヤモンド富士」の聖地としても知られています。



12 河口湖 《富士河口湖町》

多くの芸術作品とゆかりが深い景勝地です。湖面に映える富士山は「逆さ富士」と呼ばれ、名所として有名です。特に本栖湖と富士山を写した写真は、紙幣の図柄として複数回使用されました。富士山周辺の8つの湖沼を巡って修行する内八海廻り多くの富士講信者によって行われてきましたが、いつの時代も変わらず巡礼の対象として数えられたのが富士五湖です。



13~20 忍野八海 《忍野村》

富士山の伏流水による八つの湧水地で、富士山信仰の御在所と伝えられた湧岩洞窟の人穴は、富士講の開祖とされる長谷川角行が15~16世紀に修行し、入定したと伝えられる聖地です。境内には、信者たちや建立した角行や先達等の供養碑や顕彰碑、登拝記念碑が約200基残されています。



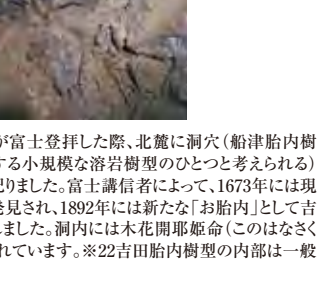
21 船津胎内樹型 《富士河口湖町》

1617年に長谷川角行が富士登拝した際、北麓に洞穴(船津胎内樹型指定範囲内に点在する小規模な溶岩樹型のひとつと考えられる)を発見し、浅間大神を祀りました。富士講信者によって、1673年には現在の船津胎内樹型が発見され、1892年には新たな「胎内」として吉田胎内樹型が整備されました。洞内には木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)が祀られています。※22吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません。



22 吉田胎内樹型 《富士吉田市》

1617年に長谷川角行が富士登拝した際、北麓に洞穴(船津胎内樹型指定範囲内に点在する小規模な溶岩樹型のひとつと考えられる)を発見し、浅間大神を祀りました。富士講信者によって、1673年には現在の船津胎内樹型が発見され、1892年には新たな「胎内」として吉田胎内樹型が整備されました。洞内には木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)が祀られています。※22吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません。



23 人穴富士講遺跡 《富士宮市》

「浅間大菩薩(富士山の神の名称の一つの御在所)」と伝えられた溶岩洞窟の人穴は、富士講の開祖とされる長谷川角行が15~16世紀に修行し、入定したと伝えられる聖地です。境内には、信者たちや建立した角行や先達等の供養碑や顕彰碑、登拝記念碑が約200基残されています。



24 白糸ノ滝 《富士宮市》

富士山の湧水が約150mにわたって噴出している白糸ノ滝は、15~16世紀、富士講開祖の長谷川角行が修行を行った地とされ、富士講を中心とした人々の巡礼・修行の場となりました。また、景勝地として古くから有名で、和歌・絵画の題材にもなっています。



25 三保松原 《静岡市》

三保松原は、「万葉集」以降多くの和歌の題材となり、謡曲「羽衣」の舞台ともなりました。また、15~16世紀以降は三保松原を手に配した構図が富士山画の典型となりました。これらの絵画をはじめ多くの芸術作品を通じて三保松原は富士山を望む景勝地として広く知られています。



2015 ぐふと富士山

2015年7月18日(土)~8月31日(日)

夏休みスタンプラリー

この夏、富士山を再発見!!
スタンプを集めながら
世界遺産「富士山」の構成資産を巡る!!

2015 ぐふと富士山

夏休みスタンプラリー

2015年7月18日(土)~8月31日(日)

スタンプラリー
応募ハガキ

1 精進湖ふじみ荘
☎0555-87-2025

3 河口湖自然生活館
☎0555-76-8230

4 富士御室浅間神社《社務所》
☎0555-83-2399

6 道の駅かつやま
☎0555-72-5633

6 道の駅なるさわ
☎0555-85-3900

7 河口湖フィールドセンター
☎0555-72-4331

8 河口湖浅間神社《あさましゃ》
☎0555-76-6913

9 富士河口湖観光総合案内所
☎0555-72-6700

10 富士ビジターセンター
☎0555-72-0259

11 富士北麓駐車場観光案内所
☎0555-72-9900

12 道の駅富士吉田
☎0555-21-1225

13 中ノ茶屋
☎090-4614-0223

14 富士山五合目総合管理センター
☎0555-72-1477

15 富士吉田市観光案内所
☎0555-22-7000

16 富士山世界遺産金鳥居インフォメーションセンター
☎0555-24-8660

17 御師住宅《旧外川家》
☎0555-22-1101

18 北口本宮富士浅間神社《神楽殿西の授与所》
☎0555-22-0221



異なる会場(施設)のスタンプを3つ以上押印して応募してください。
スタンプラリーに応募される方は、表面の応募要項にご記入の上52円切手を貼って郵送するか下記スタンプ設置箇所を設置してある専用ボックスにお入れ下さい。
ご意見・ご感想などをお寄せ下さい。



19 本栖湖観光案内所
☎0555-87-2518

32 道の駅朝霧高原
☎0544-52-2230

33 人穴富士講遺跡案内所
☎無し(土・日のみ)

34 白糸の滝《公衆トイレ前》
☎無し

35 山宮浅間神社案内所
☎無し(土・日のみ)

36 村山浅間神社案内所
☎無し(土・日のみ)

37 富士山本宮浅間大社《寄つて宮(浅間大社駐車場)》
☎0544-29-7223

38 富士宮駅前観光案内所
☎0544-27-5240

39 道の駅富士川楽座
☎0545-81-5555

40 新富士駅観光案内所
☎0545-64-2430

41 道の駅富士(上り・沼津方面)
☎0545-63-2001

スタンプ設置施設
定休日・開館時間などはお問い合わせください。

凡例

- スタンプ設置施設
- 世界遺産構成資産
- 世界遺産構成資産
- 道の駅

19 忍野村観光案内所
☎0555-84-4221

20 山中湖交流プラザきらら
☎0555-20-3111

21 山中湖観光案内所
☎0555-62-3100

22 道の駅すばしり
☎0550-76-6363

23 富士浅間神社(須走浅間神社)
《参拝者休憩所》☎0550-75-2038

24 須走口五合目観光案内所
☎080-1593-7108

25 道の駅ふじおやま
☎0550-76-6600

26 御殿場駅前観光案内所
☎0550-83-4770

27 須山浅間神社《社務所》
☎無し(日曜のみ)

28 ながいずみ観光交流協会
☎055-988-8780

29 三島市総合観光案内所
☎055-971-5000

30 沼津駅観光案内所
☎055-962-9989